

【佐川グローバルロジスティクス】アパレル向け 国内外一貫物流サービスを提供 日新運輸と業務提携

S Gホールディングスグループで国内ロジスティクス事業を展開する佐川グローバルロジスティクス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森下 琴康／以下 S G L）は、日立物流グループでフォーディング事業や繊維製品検査事業を手掛ける日新運輸株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：坂本 泰典／以下 日新運輸）と、アパレル企業へ向け中国・ミャンマーの現地工場から日本国内の納品先までの国内外一貫物流サービスを提供するため、業務提携契約を締結いたしました。

このサービスは、中国やミャンマーにて商品を製造し、日本国内において販売を展開されているお客さまへ提供するものです。生産現地から国内納品先まで一貫した物流サービスを提供し、生産現地との在庫コントロールを行うことで物量の平準化を実現します。具体的には、ミャンマーで製造された商品の輸送に、日新運輸グループが提供しているサービス「Smart My Road（スマートマイロード）」を活用することで、リードタイムの短縮を図ります。また中国においては、保税物流園区等を活用することで、在庫拠点の分散を実現します。

一般的に海外で製造された商品は、販売先が確定し直ぐに日本国内の納品先に配送する物量（以下 初回出荷）と、在庫として保管する物量（以下 フォロー出荷）を合わせて輸入するため、全物量に対応できる保管スペースが必要でした。

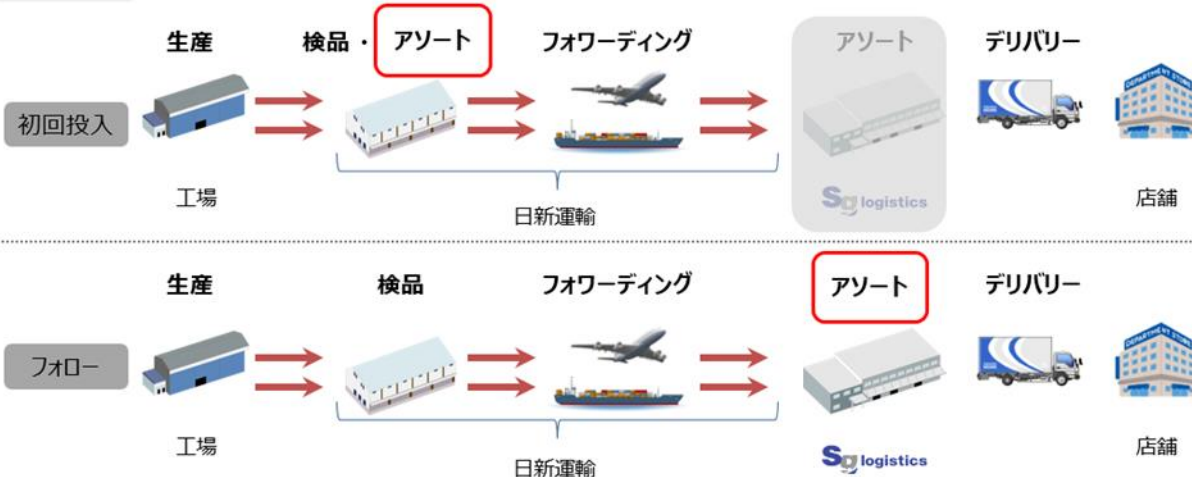
今回の提携では、初回出荷を生産現地で検品・検針し、日本国内配送用に仕分まで行うことで、日本に到着後、そのまま納品先へ配送することが可能となり、保管スペースの圧縮と納品リードタイムの短縮を実現します。日本国内ではフォロー出荷のみ物流加工業務を行うことで、国内における物量の平準化を図ります。これまで発生していた急激な物量増加による波動を軽減させ、余分なスペース使用や急激な労働力確保によるコスト増加の要因を抑制します。

日本国内においては、人口減少による労働力不足への対策が社会的な課題です。今回の提携により、物量を生産現地と日本国内に分散させることで、急激な物量増加による労働力不足のリスクを回避し、安定した物流サービスの提供を可能にします。

Before



After



メリット

1. リードタイムの短縮

国内センターまでのドレージ／横持ちや、配送拠点への横持ちなどの作業時間の短縮

国内センターでの一時保管／二次仕分作業や、国内出荷作業時間の短縮

2. サプライチェーンの効率化

物量の平準化による、サービス、コストの安定化

国内センターでの在庫スペース／作業スペースの圧縮によるコスト削減

システム連携でのトレース管理／納期情報の可視化による在庫の適正化

SGLと日新運輸では、今後もお客様にフィットした物流提案や全体の効率化の提案を行い、利便性の高いサービスの提供に積極的に取り組んでまいります。